

# 第1学年 社会科学習指導案

指導者 谷内 美穂

## 1 単元名

第2部 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域 第1節 アジア州

## 2 目標

- ・多様な自然環境や文化、産業がみられるアジア州について、地域ごとにその特色を理解し、地域間の違いからアジア州全体の地域的特色を理解している。(知識及び技能)
- ・アジア州の国々が急激な経済発展をしている理由を、人口増加や他地域との結び付きに着目し、多面的・多角的に考察している。(思考力, 判断力, 表現力等)
- ・急激な人口増加と経済発展が、アジア州に暮らす人々に与える影響や、それによって生じる課題を、主体的に追究しようとしている。(学びに向かう力, 人間性等)

## 3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
多様な自然環境や文化、産業がみられるアジア州について、地域ごとにその特色を理解し、地域間の違いからアジア州全体の地域的特色を理解できる。	アジア州の国々が急激な経済発展をしている理由を、人口増加や他地域との結びつきなどに着目し、多面的・多角的に考察し、表現できる。	急激な人口増加と経済発展が、アジア州に暮らす人々に与える影響や、それによって生じる課題を、主体的に追究しようとしている。

## 4 指導にあたって

### (1) 教材観

アジア州は、気候が場所により大きく異なり、そこに世界の総人口の約6割が生活していることから、産業、民族、生活・文化など様々な面で多様性に富んだ地域である。また、N I E SやA S E A Nに続き、近年B R I C sと呼ばれる中国・インドを筆頭に経済成長が著しい地域でもある。したがって、多様性や経済成長といった地域的特色を理解しやすい単元といえる。SDG sにおいては、8「経済成長」11「まちづくり」等と関連付けられる。

### (2) 生徒観

本学級の生徒は落ち着いた雰囲気です。授業に臨むことができ、発言する場面では積極的に自分の意見を述べることができる。課題解決には前向きに取り組む一方、資料の読み取りや、複数の事象から物事を判断し、それを表現することを苦手とする生徒が比較的多い。

### (3) 指導観

課題を示した後に、課題解決に向けてどのような流れで授業を進めていくかの確認を行い見通しを持たせる。複数資料を読み取る場面では、机間巡視を行いながら適宜個別に声掛けを行いながら支援していきたい。最後のまとめでは新しく知ったことや考えたことを書かせることで、自己の変容を自覚させたい。

5 単元の指導計画及び評価計画（総時数7時間）

次	時	学習課題とまとめ	評価基準	評価		
				知	思	主
1	1	〈アジア州の地形や気候にはどのような特色があるのか〉 東・東南・南アジアは季節風の影響で季節による降水量の差が大きいですが、西・中央アジアは季節風の影響を受けにくく一年中乾燥している。	アジア州を6つの地域に区分し、それぞれの自然環境の特色を理解するとともに、雨温図や景観写真などから気候の特色を理解している。	○		
	2	〈アジア州の農業にはどのような特色があるのか〉 季節風の影響で比較的降水量の多い地域では稲作が行われ、乾燥した地域では遊牧、その中間の地域では小麦の栽培が行われる。	年間降水量と農業の特色との関係や、人口の集中と都市化をそれぞれ関連付けて考察している。		○	
2	1	〈中国ではなぜ急速な経済発展が起こり、社会にどのような影響を与えたのか〉 巨大な人口を抱える中国では1980年代に経済特区を設けるなどの改革を進めたことで、急速な経済発展を遂げた。それにより都市化が進む一方で、経済格差の拡大、環境問題の深刻化などが起こっている。	急速な経済発展に伴って進行する経済格差や環境問題などの課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。		◎	
	2	〈韓国ってどんな国？〉 文化の面では日本と共通点が多い。産業の面では、近年情報通信産業が発達している。首都のソウルに人口が集中することで就業の機会や収入の格差が生じたりするなどの課題もある。	韓国の生活・文化や社会と産業の変化について、韓国と日本とのかかわりに着目しながら多面的・多角的に考察し、表現している。		○	
	3	〈東南アジアはどのように発展してきたのか〉 工業団地を造り、日本などから外国企業を招き、安い労働力を生かして電気機械工業や自動車工業の工場を増やして発展した。	東南アジアの工業化について、資料から外国企業の進出増加やその背景について読み取り、理解している。	○		
	4	〈なぜインドではICT産業が発達したのか〉 インドは英語や数学の水準が高いこと、またアメリカとの時差がおおよそ12時間であり、協力することで24時間体制の対応ができるから。	インドでICT関連産業が成長した背景やインドの抱える課題について、多面的・多角的に考察できる。		○	
	5	〈中央・西アジアはどのようにして発展してきたのか〉 原油や天然ガスを輸出した利益で交通網の整備や観光業など、他の産業の発展を進めてきた。	西アジアや中央アジアの経済成長について理解し、原油の生産や輸出が経済発展につながっていることを理解している。	○		
3	1	〈アジア州における急速な経済成長は、地域にどのような影響を与えているのか〉 安くて豊富な労働力や、豊かな資源を活用しながら成長を遂げた。発展に伴い、環境汚染や経済格差などの課題もある。	アジア州の国々が急激な経済発展をしている理由を、人口増加や他地域との結び付きなどに着目させ、多面的・多角的に考察・表現させる。		◎	

6 本時の学習（2次1時）

(1) ねらい

中国の経済発展とそれに伴う社会への影響を多面的・多角的に考察することによって、11「住み続けられるまちづくり」に必要なことを考え、表現する。

(2) 学習過程

<p>1～6 学習活動</p> <p>○主な発問 ○深める発問 ・主な意識の流れ</p>	<p>時</p>	<p>●指導 ◇評価（観点）＜評価方法＞ *支援 【ICT】ICTの活用 研究の重点①重点②</p>
<p><b>1 学習の課題をつかむ</b></p> <p>○1987年と2018年のシェンチェンの街並みを比べて、どこが変化しただろう？</p> <p>・高層ビルが増えた ・発展した</p>	<p>5</p>	<p>● 具体的に「何が」「どうなったか」を読み取らせる。</p>
<p>学習課題：中国ではなぜ急速な経済発展が起こり、社会にどのような影響を与えたのか</p>		
<p><b>2 自分で考える</b></p> <p>○中国が急速に経済発展した理由を「人」「技術」「お金」の面から、考えよう</p> <p>・14億人もの人口を抱えている</p> <p>・経済特区とは何だろう</p> <p>・外国の企業を誘致することで技術やお金を得ることができた</p> <p>○経済成長の一方で、何か問題はないか</p> <p>・都市と地方とでは経済格差が広がっている</p> <p>・環境汚染が起こっている</p> <p>・再生可能エネルギーを使うことで改善をはかっているようだ</p>	<p>20</p>	<p><b>重点① 見通しを持たせる工夫</b></p> <p>● 経済発展した理由と課題を明らかにし、最後には「住み続けられるまちづくり」に必要なことは何かを考えることを説明する。 Jam boardで、読み取ったことや経済が発展した理由をまとめて共有する。【ICT】 *資料は1枚の用紙にまとめて示す。 *資料の読み取りが困難な生徒には、個別に声掛けを行う。</p> <p>● 経済格差はどの地域で起こっているかを読み取らせる。</p>
<p><b>3 自分の考えを伝え合う</b></p> <p>○調べたことを発表する</p>	<p>10</p>	
<p><b>4 みんなで考えを深める</b></p> <p>○「住み続けられるまちづくり」に必要なことって何だろう？</p> <p>・環境を守りながら、経済成長をめざすこと</p> <p>・再生可能エネルギーを積極的に活用し、環境を守ること</p> <p>・経済格差をなくすことで過疎化を止められるのではないか</p> <p>・失業対策をしなければいけない</p> <p>○意見を発表しよう</p>	<p>10</p>	<p>◇ 「住み続けられるまちづくり」のために必要だと思うことを考えてワークシートに記入する。（思考・判断・表現）</p> <p>*自分の考えを持ってない生徒には、机間指導で個別に声掛けをする。（C→B）</p>

<p>5 「わかった」「できた」をまとめる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>巨大な人口を抱える中国では1980年ごろから経済特区を設けるなどの改革を進めたことで、急速な経済発展を遂げた。それにより都市化が進む一方で、経済格差の拡大、環境問題の深刻化などが起こっている。</p> </div> <p>6 ふり返りをする</p>	<p>5 重点② 変容を自覚させる工夫</p> <p>●新たに知ったこと、考えたことを考えワークシートに記入する。</p> <p style="text-align: right;">&lt;ワークシート&gt;</p>
---	--

(3) 参観の視点に関する工夫点

重点①では・・・『住み続けられるまちづくり』のために必要なことを最後に考える」ということを事前に伝え、見通しを持って授業を受けられるようにする。

重点②では・・・変容を自覚させる工夫として、新たに知ったこと、考えたことをワークシートに記入する。

SDGs に関して・授業で得た情報と SDGs との関連を考えるため、SDGs の目標を掲示する。

(4) 板書計画

〈中国ではなぜ急速な経済発展が起こり、社会にどのような影響を与えたのか〉

街並みの変化

1987年	2018年	<p>「技術」、「お金」</p> <p>1980年ごろ「経済特区」設置</p> <p>→外国企業の進出</p> <p>技術や資本の導入</p>	<p>★住み続けられるまちづくり 必要なこととは？</p>
<p>「人」</p> <p>14億人…消費を支える</p>		<p>◎課題</p> <p>経済格差（沿岸部と内陸部）</p> <p>環境汚染</p>	<p>巨大な人口を抱える中国では1980年ごろから経済特区を設けるなどの改革を進めたことで、急速な経済発展を遂げた。それにより都市化が進む一方で、経済格差の拡大、環境問題の深刻化などが起こっている。</p>